

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		東京書籍
総 評		<p>英語を通して他者との関わりを大切にしながら思考、表現していくような活動が展開されるように工夫がされている。また、学習段階に合わせて「書く」活動を取り入れる事により、実際の「話す」場面で無理なく活用できる流れになっている。</p> <p>一方で、Unitごとのページ数が少なく、1ページに多くの活動が入っているため、指導手順が分かりにくく、児童にとっても学習の見通しを持つことが難しく主体的な学びにつなげにくいと考えられる。</p> <p>学校調査では、絵辞書をPicture Dictionaryとして別冊にしていることを評価する意見があった。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界とのつながりに目を向けたり、日本の紹介や自分たちの地域について触れたりする場面設定があり、他者との関わりを大切にしながら思考し、表現していく活動が豊富に取り入れられている。</li> <li>○ Unitごとに「インプット」→「練習」→「アウトプット」の段階で学習し、最後にはそれまでのUnitを振り返る「力だめし」の活動が設定されてある。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年の「書く」活動において、Let's read and writeがUnitごとに①～④にわけられ、一文ずつ後方のページにあるワークシートに書き足していく工夫がされてあるので、児童が無理なく「話す」活動のEnjoy Communicationで友だちとやり取りすることができる。</li> <li>○ Sounds and Lettersでは、少しずつ同じ音を集めて発音するだけでなく、同じ音の音声を聞いて文字を書くことができ、音声と文字を関連付けさせることができる工夫がある。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末絵カードやコミュニケーションカードがミシン目で使いやすく紙もしっかりしているので、児童にとって扱いやすくなっている。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年生の最後には中学生へとつながる大単元が設定されている。</li> <li>○ 6年P.4「学び方みいつけた！」で、5年生で学習した表現を振り返ることができる。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Picture Dictionaryは語彙数が充実しており、すべて四線に文字が書かれていたり、例文に当てはめると文ができたり、文字理解の支援につながる。また、別冊になっており児童が活用しやすい。</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unitごとのページ数が少なく、児童が主体的に学習内容を見通すには難しい可能性がある。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語の文字が多く、英語を聞いて推測する姿勢を育成しにくいとも考えられる。</li> <li>○ Unitの最後のOver the Horizonで、世界の国々の紹介や国際的な問題などを扱っているが、単元の中で世界の友達や文化を意識しながら学習を進めるのは難しい。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四線の幅に差があり、中学校への接続には配慮を要する。</li> <li>○ 巻末の「書く」ためのワークシートは、単元の内容を参考にして書く際に見づらい。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元ごとに学習を振り返る場面が必要である。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童にとってなじみの少ない英語の歌が多く、児童が負担に感じる可能性がある。</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		開隆堂出版
総 評		<p>児童が英語でコミュニケーションしたいと思えるような題材・活動内容が多く設定されており、主体的な学びにより、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>また、学校調査では、絵や文字・ワークシート等が見やすく、児童が学習活動に取り組みやすいという意見が多くあった。</p> <p>全体的に英語を書く活動が少なく、表記されている英単語・文に四線や基本線がないため、正しく書くことを身につけるためには配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 5年生P.47にはチャレンジ教材として「プログラミングで道案内」が設けられており、習得内容を活用した論理的思考力・判断力・豊かな表現力等を育成するように配慮されている。
	2 内容取扱い	<p>○ 各 Lesson に Activity が多く取り入れられており、児童が主体的に「話す」「聞く」活動を通して基礎的な技能を身につけられる。</p> <p>○ 「ある職業になるための時間割を作ろう。」や「宝物への道案内をしよう。」など、各 Lesson の目標が、学習内容を使って自己表現できるように設定されており、児童の興味・関心を引き、学習意欲を引き出すことのできる題材になっている。</p> <p>○ 伝統的な文化に親しめる内容が盛り込まれており、言語の背景にある文化に触れながらコミュニケーションを図る態度を養うことができる。</p>
	3 外的要素	○ 写真が鮮明である。
	4 構成・配列	<p>○ 目次にも表記されているように、随所で教科横断的な内容がもりこまれており、特に Lesson8「What would you like?」(P.64)では家庭科と紐づけて互いに振り返りながら学習を進めることができる。</p> <p>○ 各学年の前半、後半の最後に「Project」が設定され、それまでに学習した内容を使ったまとめの活動ができるように工夫されている。</p>
	5 資料・その他	<p>○ 巻末の絵カードが両面使用できるように工夫されている。</p> <p>○ 「中学校へつなげよう」の付録ページは、児童が先を見通して学習を進める手立てになる。</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 世界の友達や文化についてふれるコラムや教材がやや物足りない。
	2 内容の取扱い	<p>○ 英語で「書く」活動が全体を通してやや少ない。</p> <p>○ Story が「大きなかぶ」のみで、親しみやすい長文教材が少ない。</p>
	3 外的要素	<p>○ Lesson 内の英単語・文に基本線等がなく、四線を意識しづらい。</p> <p>○ 絵カードにミシン目がないため、ユニバーサルデザインに関して配慮を要する。</p>
	4 構成・配列	○ 「文字に慣れよう」が終末にまとめられているが、各 Lesson との関連がわかりづらい。文字を段階的に指導するには、各 Lesson の後に配置するなど工夫が必要である。
	5 資料・その他	○ 単語リストは、絵と Alphabet で表現するほうが良い。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		学校図書
総 評		<p>コラムや Lesson の⑤項目で日本や世界の文化について学習できるよう構成されており、豊かな心や創造性の涵養を目指した道徳教育の充実を図ることができる内容になっている。</p> <p>一貫した単元構成かつ、繰り返し学習が徹底されており、基礎的な学習内容は身につけることができると考えられる。しかし、ペア・ワークやグループ・ワークを通じた実践的な活動が少なく、児童が英語によるコミュニケーションを楽しもうとするような主体性・資質・能力を育成することに難しさがある。</p> <p>学校調査では、内容と情報量が多すぎるため指導が難しいという意見が多くみられた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ コラムや Lesson の⑤項目で日本や世界の文化について、また、Word Corner でオリンピック・パラリンピックについて扱われており、多様性に触れながら学習を進めることができる。
	2 内容の取扱い	○ レッスンシーンを繰り返し聞く、目標表現を含む Chant を繰り返し発声するなど、身につけたい表現を何度も繰り返して扱うことで基礎的な技能を身につけることができるように設定されている。 ○ 各 Lesson の最後には、その単元で学習した表現を使った Short Story がある。Story 同士のつながりもあり、帯活動としても利用できる。 ○ Let's Listen (A) (B) (C) のページ番号の横に Sounds & Letters があり、適度に音と文字の関係を取り上げている。
	3 外的要素	○ 「書く」活動は、見本をなぞってから書き写す手順になっており、書くことに困難を抱える児童への配慮がある。
	4 構成・配列	○ 巻頭には Pre Lesson として前学年までに学習した内容や基本的な表現を確認できるページが設けられている。
	5 資料・その他	○ Alphabet Corner は児童の意欲を引き出すよう、ゲーム感覚で取り組める内容になっている。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ コミュニケーションを図る活動が少なく、主体的・対話的な学びの場が不足している。
	2 内容の取扱い	○ Small talk はあるが、その他のペア・ワーク、グループ・ワークなどの英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする Activity が少ない。 ○ 日本語での指示が多く、英語による見方・考え方を養うという点で物足りない。
	3 外的要素	○ Word List は文字が小さく、また、扱いづらい。
	4 構成・配列	○ 学んだことを生かした発表・復習等の活動場面の設定が少ない。
	5 資料・その他	○ 絵カードやワークシートが少ない。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		三省堂
総 評		<p>単元の構成が明確で、学習した内容をコミュニケーションの場面で効果的に活用できるような工夫がされている。また「書く」場面において、児童のつまずきを支援するような配慮が多くみられ、聞いたり話したりするとともに、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力を養うような設定がされている。</p> <p>学校調査では、人権課題についての内容が豊富でよいという意見がある一方で、挿絵・資料が緻密すぎる部分もあり、題材を効果的に使用するために、英語を使って児童とやり取りするには難しさを感じるという意見が少なからずみられた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 大単元を HOP、STEP、JUMP の段階でわかりやすく提示し、JUMP では、ねらいの異なるいくつかの STEP で学習した表現や語彙を使って、実際の場面や目的に応じて活用する言語活動を行うことで、児童の思考力や表現力を高められるようになっている。
	2 内容の取扱い	<p>○ 各 Lesson のまとめである Write &amp; Speak では、四線の上か左にある Word Bank に表現する語句と絵が示されているため、児童が「書く」活動で書き写しやすいう配慮されている。</p> <p>○ 5年 Lesson 1、2 でアルファベットの文字と音のつながりに触れた後の各 Lesson の Part 1 では、同じ音を持つ語を集めてチャンツをする Sound Chant があり、音声と文字の結びつきへの気づきを促す工夫がされている。</p> <p>○ Story では、子どもたちになじみのある世界の童話や民話や名作を取り入れることにより、読もうとする気持ちを高める工夫がある。</p>
	3 外的要素	○ 「聞く」「読む」「書く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の5つの活動を示すアイコンが活動ごとに表示されており、どんな力を育成するのか明確にする工夫がされている。
	4 構成・配列	<p>○ 大単元の最初のページの My Goal には、HOP、STEP、JUMP での学習を通して何を習得するのか明確に示されている。</p> <p>○ 5年 Presentation 3 「日本のここ、おすすめ！」など他教科につながる題材が随所にみられる。</p>
	5 資料・その他	<p>○ Words &amp; Phrases の文字に基本線が引いていたり、QR コードから音声を確認できたりするため、児童が文字を正しく認識し、「読む」「書く」活動ができるよう配慮されている。また、それらの語句が使用されているページが書かれてあり、学習の振り返りにも活用できる。</p> <p>○ 巻頭に「教室で使う英語」や「会話を続けるくふう」のフレーズがあり、児童や教師のコミュニケーションに対する抵抗をやわらげ、学習意欲を引き出す工夫がある。</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 地域の行事や防災の取組等を題材にしてもよい。
	2 内容の取扱い	○ 日本語での説明が多く、英語を聞いて推測する姿勢を育成しにくいとも考えられる。
	3 外的要素	<p>○ 絵カードの種類が少なく、ミシン目もないので扱いにくい。</p> <p>○ CAN-DO リストの文字や配列がばらばらで見にくい。</p> <p>○ 実際の写真が少なく、実生活と結びつけにくい。</p>
	4 構成・配列	○ 6年の最後に中学生につながるページがあってもよい。
	5 資料・その他	○ 国際的な題材が少なく、世界とのつながりを意識しにくい。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		教育出版
総 評		<p>実在の人物等を題材や登場人物として多数取り入れることで、児童が非常に興味を持ち自分の思いを現実的に思い描くことができ、考えや思いを強く持って英語でコミュニケーション活動ができる工夫が秀逸である。また、ペアやグループでコミュニケーションする活動を豊富に取り入れていることで、主体的に友達と意見交換しながら、題材に深く取り組むことができるように工夫されている。さらに、「話す」「聞く」から「読む」「書く」への学びも適切に進み、児童が自然に4技能を高めることができるようになってきている。</p> <p>学校調査では、児童の活動内容を紙面上に絵で示していることが多いため、理解が難しい児童も見通しを持って取り組むことができるとの意見が多くあった。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レストランでの丁寧な言葉遣いのやり取りなどの実生活に生かせる場面設定や、日本の各地、世界に目を向ける場面設定など、他者と関わりながら思考し、進めていく活動が豊富に取り入れられている。</li> <li>○ 内容や挿絵で性別や人種の偏りが出ないよう配慮されていたり、障がい者アーティストの書いた絵やパラリンアートの活動を紹介したりするなど、多様性に触れながら学習を進めることができる。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元にペアやグループで取り組むコミュニケーション活動、協力し合いながら行う Activity、Final Activity が設定してあり、実際にコミュニケーション活動をする機会が豊富に取り入れられている。</li> <li>○ Lesson 以外に Sounds and Letters や Read and Act などを取り入れ、「読む」「書く」の習得や活用ができるようになってきている。</li> <li>○ Sound and Letters で適度に音と文字の関係を取り上げている。</li> <li>○ 実生活でなじみのある人物を題材やキャラクターとして豊富に取り上げているため、現実的に考えたり、親しみをもって取り組んだりすることができる。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真や挿絵が鮮明で、見やすい。</li> <li>○ 絵カードがミシン目になっていたり、振り返りシールがあったりするなど、児童にとって扱いやすく取り組みやすい。</li> <li>○ 絵辞書の語彙に基本線があり、文字理解への支援となっている。</li> <li>○ 四線の間隔もほぼ等間隔になっており、小学校卒業時に正しい文字を習得できる。</li> <li>○ 児童の活動内容を絵で示しているため、わかりやすい。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ STORY では、2年生国語科で学習した読み物を扱うなど、他教科との関連が図られている。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末のワークシートに厚さがあり、活動したものを使って発表したり、掲示したりすることができる。</li> <li>○ 5年 Lesson 6 の名所・名物マップは、とじ込み地図にし、充実した内容を提示しているため、児童が非常に興味を持って取り組むことができる。</li> <li>○ QR コードのまなびリンクから学習に役立つ情報を見ることができる。②</li> </ul>
配慮を要する点 特に工夫・	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の行事等を題材にしてもよい。</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし。</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 印刷部分の手触りが少しざらざらしている。</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年の最後に中学生につながるページがあってもよい。</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルファベット表記がもう少し大きくてもよい。</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		光村図書出版
総 評		<p>各単元をHop! Step1/2! Jump!の段階で示すとともに、目標・学習活動の流れ・コミュニケーション活動の様子・書く活動・振り返りが誌面に明瞭に記載されており、指導者・児童が見通しを共有し、児童が主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>また、学んだ表現を使って友達や社会、世界の友達・文化とつながるように構成されている。学校調査においても、自分や他者を大切に、相手意識をもったコミュニケーション活動が展開されるよう工夫がされているという意見が多くあった。</p> <p>さらに、Fun Timeでは、文字や英語の歌、他教科とつなげて学習できるような活動が豊富に設定されている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各単元をHop! Step1/2! Jump!の段階でわかりやすく提示し、目標を示していたり、単元最終の児童のコミュニケーション活動が絵や写真で表現されていたりするので、児童がゴールまでの確かな見通しを持って主体的・対話的に学びをすすめることができる。
	2 内容の取扱い	<p>○ 「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」の順に系統立てて活動が組み立てられている。</p> <p>○ 5年生P.92「言葉」など、コミュニケーションのツールとなる言葉を大切に扱い、他者に配慮しながら英語を話す意識を持つことができるよう工夫されている。</p> <p>○ ページ下に、発音のポイントが短くわかりやすく示してあるため、楽しんで取り組むことができる。</p> <p>○ ペア・ワークやグループ・ワークを様々な学習形態で取り入れており、多くのコミュニケーション活動が設定されている。</p>
	3 外的要素	<p>○ 学習の振り返りに使用するシールが4種類あって使いやすい。</p> <p>○ 教室での活動の様子が絵や写真で豊富に示されているため、児童の助けとなる。</p>
	4 構成・配列	<p>○ Reviewでは、その前までの表現を使って、世界の友達のことや文化を知ることができるようになっている。</p> <p>○ Fun Timeでは、文字や英語の歌、他教科とつなげて学習できるような活動が豊富に設定されている。</p> <p>○ 巻頭の目次に単元のゴール、4技能についてのCAN-DOが示されている。また、各Unitには最終ゴールと各時の目標が示されている。</p>
	5 資料・その他	<p>○ Unitごとに絵辞書の関連ページが表記されており、活用しやすい。</p> <p>○ ペンマンシップシートは繰り返し使うことができ、学習意欲を高めている。</p> <p>○ 各Unitのレイアウトが統一されていて見やすい。</p>
配慮を要する点 特に工夫・	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 地域とつながるような単元を入れてもよい。
	2 内容の取扱い	○ 日本語の文字が多く、先生とのやり取りで英語を聞いて推測する姿勢を育成しにくいとも考えられる。
	3 外的要素	<p>○ 四線の幅に差があり、中学校への接続には配慮を要する。</p> <p>○ カードにミシン目がなく、扱いにくい。</p>
	4 構成・配列	○ 巻頭に5年生での学びを表現する場面を設けてもよい。
	5 資料・その他	○ 5年生から英語の歌や物語等に多くの英文があり、児童が負担に感じる可能性がある。

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

英 語		啓林館
総 評		<p>単元の構成が明確で、ゴールを見通してPart 1～3と活動し、振り返りを記入できるようになっている。また、Reviewは、年3回あり、評価にも活用できる。各単元では、発音のポイントや文字との関連付け、書く場面において、丁寧な支援がなされており、児童が着実に力をつけていく流れとなっている。</p> <p>一方、題材から実社会をイメージしたり、他教科や世界とのつながりを感じたりする機会が多くないと感じられる。</p> <p>学校調査では、Word Listが豊富である一方で、1ページの内容量が多いという意見もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各単元のゴールが明確に示されており、最後に振り返りも明示されているので、児童が主体的に学習に取り組むことができる。
	2 内容の取扱い	<p>○ 全単元で「聞く」「話す」「読む」「書く」の段階を踏んで無理なく学ぶことができるように配慮されており、特に「聞く」活動が十分に設定されている。</p> <p>○ 基礎的な語彙や表現がListen and PlayやChantなどで明示し、演習問題やコミュニケーション活動で繰り返し活用できるようになっている。</p> <p>○ Chantの活動では、強勢で言う部分に赤点をつけてあり、児童自ら意識することができるようになっている。</p> <p>○ Let's Read and Writeの活動が単元ごとに設定されており、音と文字の関連付けを無理なく学べるように配慮されている。</p> <p>○ STORYで既知の「大きなかぶ」を取り入れることにより、読もうとする気持ちを高める工夫がされている。</p>
	3 外的要素	<p>○ 絵カードにミシン目があり、またUnitごとに色分けしてあるため、児童が扱いやすくなっている。</p> <p>○ 文字を書く四線の幅がほぼ等間隔になっているため、中学校への接続がスムーズである。</p>
	4 構成・配列	○ Reviewを一つのまとまりとして、その前の単元でまとめた内容の学習を設定している。そのため、Reviewでは、それまでの単元の自己評価、指導者の評価として活用することができる。
	5 資料・その他	○ Word Listの文字に基本線を引いたり、絵がUnitで使用される絵を使用していたりするため、児童が文字を正しく認識したり学習した絵と関連付けて読むことができるように配慮されている。また、QRコードで聞く音声は、実態に合わせて速さを変更することもできる。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 実社会とのつながりを意識させる工夫がもう少しほしい。
	2 内容の取扱い	<p>○ 6年生Unit 5で過去形I bought～.などが少し難しい。</p> <p>○ 世界の友達とつながりや外国の暮らしを感じさせる登場人物の設定や動画等の配置がイメージしにくい。</p>
	3 外的要素	○ 吹き出しの字が少し小さい。
	4 構成・配列	○ 他教科と関連させている部分に分かりにくい。
	5 資料・その他	○ 国際理解的な話題を取り上げるのに児童は初めて知ったり考えたりすることが予想されるのでDid you know?というネーミングがあまり適さない。